

令和2事業年度

決 算 報 告 書

自：令和 2年4月 1日

至：令和 3年3月31日

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

令和2年度 決算報告書

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	20,299	20,359	60	(注1)
補助金等収入	1,540	3,111	1,570	(注2)
施設整備費補助金	1,071	896	△ 175	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	-	
自己収入	189	893	703	(注4)
雑収入	189	893	703	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,145	3,921	776	(注5)
目的積立金取崩	50	-	△ 50	(注6)
計	26,318	29,203	2,884	
支出				
業務費	20,540	20,478	△ 61	(注7)
教育研究経費	20,540	20,478	△ 61	
施設整備費	1,092	917	△ 175	(注8)
補助金等	1,540	3,111	1,570	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,145	3,521	375	(注10)
計	26,318	28,028	1,709	
収入-支出	-	1,174	1,174	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった運営費交付金が交付されたため、予算額に比して決算額が60百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等については、受入額の増加により、予算額に比して決算額が1,570百万円多額となっています。
- (注3) 施設整備費補助金については、繰越額の発生により、予算額に比して決算額が175百万円少額となっています。
- (注4) 雑収入については、予算段階での見込みにより財産処分収入等の増加などにより、予算額に比して決算額が703百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等では、産学連携等研究収入の増加などにより、予算額に比して決算額が776百万円多額となっています。
- (注6) 注4に示した理由及び経費の効率的な執行に努めたこと等により、予算段階で予定していた目的積立金取崩額の使用がありませんでした。
- (注7) 運営費交付金の一部について、業務達成基準を適用し次年度に繰り越したため、予算額に比して決算額が61百万円少額となっています。
- (注8) 注3に示した理由等により、予算額に比して決算額が175百万円少額となっています。
- (注9) 注2に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,570百万円多額となっています。
- (注10) 注5に示した理由等により、予算額に比して決算額が375百万円多額となっています。
また、決算額には前事業年度繰越額として、受託研究費153百万円、共同研究費199百万円、受託事業費3百万円を含んでおります。